

唐崎神社

奈良から船でやってきた大己貴命が神であることを明かし、流浪人・ことのみたちうしまるを説得して社殿を建てさせ、神官とした伝説の場所である。その神社が現在の日吉大社西本宮である。692年に創建された唐崎神社は、牛丸の妻である和気媛命を祀っている。婦人病を治すことで有名である。

唐崎の松は、古くから日本の詩歌や芸術の中に謳われてきた。8世紀の歌集『万葉集』には一代目の松が詠まれている。二代目の松は、歌川広重（1797-1858）の近江八景のひとつに描かれ、松尾芭蕉（1644-1694）の俳句にも詠まれ、神社裏の三代目の大木のそばにある木札には、この松が刻まれている。